

令和4年 第10回森町教育委員会会議録

日 時：令和4年10月5日（水）15：00～

場 所：森町福祉センター（森町公民館） 2階 講堂

出席委員：毛利教育長・三輪委員・長瀬委員・吉川委員・古川委員

出席者：坂田学校教育課長

河野学校教育課参事

木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長

小杉学校教育課学校教育係長

西川学校教育課総務係長

石井学校教育課総務係主事

署名委員：長瀬委員・吉川委員

報告事項：報告第1号 令和4年度一般会計補正予算について

報告第2号 駒ヶ岳小学校の耐力度調査結果に基づく方向性について

（毛利教育長）

では皆さん、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。ただいまから令和4年第10回森町教育委員会を始めます。会議録署名委員の指名を最初に行います。会議に先立ちまして、会議録署名委員の指名は本日、長瀬委員と吉川委員を指名いたします。よろしくをお願いします。

では最初に主な行政報告をするので1枚めくっていただいて、1ページをお開きください。順次ご説明いたします。まず8月30日、鷲ノ木遺跡現地視察、9月9日にも入っております。それから20日から21日、2日間にわたって整備委員が来町するという旨が記載されております。鷲ノ木遺跡については、今でも保存のための作業が続いておりまして、実は現時点も今年度の作業は冬支度に入っているところです。この整備委員の方々をお願いして、昨年度作った基本計画というのがありまして、保存のための作業と、公開に向けた整備というのを併せて考えて行っておりますので、時間がかかる内容なんですけれども、国の専門家や道の関係の方に来ていただいて、鷲ノ木の方、作業を進めているところです。私も何回か現地行って見ているんですけども、中央の部分にですね、何かあるんじゃないかということで、どうやら昔の人が掘った跡までは今年分かったんですけども、その先はちょっとまだ分からない、相変わらずミステリーな部分を抱えております。専門家の間では本当に注目の高い遺跡となっております。それからペーパーに戻りまして、9月10日・11日の2日間、玉川大学のリベラルアーツ部というところがあってですね、森町の子供たちと個々の会場でやったんですけども、学生たちがプログラムを作って、子供たちと色々な形で接するというようなそんな企画を毎年やっています、今年久しぶりに対面で行うことが出来ました。今後も引き続きやっていきたいなと思っています。12日町の工作展表彰式、今年も大変優秀な作品が揃いました。本当に力作が多いんですね。子供たちのそういう創意工

夫の跡が見られた良い作品展になりました。それから21日、ロータリークラブの教育情報提供ということで、ロータリークラブさんとのかかわりもちょっと出てきたということと、10月5日、今日午前中だったんですけれども、ライオンズクラブの図書の寄贈というのがこれまた40年続いておりました、そういう町内にあるクラブやクラブの方々と非常に連携が捗っていくことを祈っております。それから9月22日、駒ヶ岳小学校の方向性に係る意見交換会というものを開きました。延べ8回になりました。これは後ほど議事にしたと思いますので、皆様のご意見をよろしくお願ひします。それから9月29日、渡島の教育委員会教育長会議及び会ということで実はもうこの時期なんですけれども、来年度に向けた人事異動の話が始まっております。校長先生方とですね、情報を共有しながら、今後人事作業に入っていくというタイミングになっています。10月1日、外ヶ浜の方々と交流事業を行いました。これもちょっと2年ほど出来なかったんですけれども、対面で今までスポーツ交流とか諸々企ててやってきたんですけれども、今年から通年になろうかと思ひますけれども、文化財が双方にありますので、文化財を中心とした交流ということで1日日帰りで外ヶ浜の方々が来て、こちらの遺跡等を見ていただいたということになっています。今回ですね、森町からは役場職員が外ヶ浜の豪雨による被害があったんですけど、その際一週間くらい入れ代わり立ち代わりで外ヶ浜の方に派遣しましてですね、お手伝いしてきた経緯がございまして、外ヶ浜の方々も大変お礼を申し述べていたという状況でした。それから3日、鷲ノ木小学校オンサイトPPA通電式といって要は、鷲ノ木小学校をモデルケースみたいにしてながら企業とコラボして、太陽光パネルですね、これを設置して、学校の体育館中心に通電するというようなことで、これが何につながるかというと、災害時の避難所に電気が切れてしまっても、自分のところの蓄電池を使って、多少の間はそこで電気のあるトイレが使えたり、そういうことが出来るということで、ぜひ今度機会があれば非常に立派な施設、発電所って名前が付いていますけれども、施設が出来上がりましたので、これもまた未来志向な学校の在り方ということで、電気が通り始めたということです。それから、下の方になりますけれども、森中学校・砂原中学校のいわゆる学校祭と称するものなんですけど、9月の下旬にあったんですけれども、双方の学校とも保護者の入場制限をかけたんですね、形の違いはあれども。保護者の入場制限がある以上、教育委員の皆さんにもあえて詳しくご案内差し上げなかったんですけれども、委員会もそういう中での出席というのは遠慮したいという経緯がございましたので、お伝えしておきます。以上がこの間の行政報告になります。皆さんからご確認したいことございましたら、お願ひします。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

それでは、報告事項に入ります。報告第1号「令和4年度一般会計補正予算について」です。

(木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長)

それでは、報告第1号「令和4年度一般会計補正予算について」ご説明いたします。この補正予算につきましては、事前に各教育委員の皆さまに電話にて補正内容についてのご説明をさせていただいたところでしたが、その後令和4年9月15日に開催されました、令和4年第1回森町議会9月会議において、補正内容について審議を行い、議決されたものとなっております。改めて今回の補正内容についてご説明いたします。なおこの補正は、生涯学習課に係る内容となっております。

5 ページをお開き願います。体育施設費の補正予算ですが、修繕料の増額補正で628,000円となっております。内容につきましては、森町ふれあいの森パークゴルフ場に給水用として設置してある深井戸用揚水ポンプについて、8月末より、揚水ポンプが稼働しない不具合が多発したことにより、業者に確認していただいたところ、揚水ポンプが経年劣化に伴う不具合を多発している状況であり、このままでは施設の管理運営に支障をきたすため、揚水ポンプの取替修繕を実施し、不具合の解消を取り除くことを目的とした内容でございます。また今回の揚水ポンプ修繕に伴い、ポンプ室内に設置してある「揚水ポンプ制御盤」についても交換修繕が必要となるため、ポンプ修繕と同時に行う内容となっております。今回の補正に係る説明については、以上となります。よろしく願いいたします。

(毛利教育長)

はい、以上報告第1号です。ご質問等ございませんか。電話にて確認したとおりです。

(教育委員一同「大丈夫です」の声)

(毛利教育長)

はい、ありがとうございます。では続きまして、報告第2号「駒ヶ岳小学校の耐力度調査結果に基づく方向性について」です。

(坂田学校教育課長)

それでは報告第2号「駒ヶ岳小学校の耐力度調査結果に基づく方向性について」ご説明いたします。別添資料として「駒ヶ岳小学校の耐力度調査結果に係る保護者・駒ヶ岳赤井川地域説明会開催の経過について」を添付しておりますので、ご参照願います。

令和4年3月4日の駒ヶ岳小学校運営協議会への説明を皮切りに、保護者に対しての説明会・意見交換会を3回、駒ヶ岳・赤井川町内会の皆様に対しての説明会・意見交換会を2回、保護者と駒ヶ岳・赤井川地域の皆様への合同意見交換会を2回、合わせて8回の説明会・意見交換会を行わせていただきました。説明会・意見交換会では、駒ヶ岳小学校の耐力度調査結果を踏まえ、教育委員会として、児童の安全を第一に考え、来年4月から森小学校(希

望があれば鷺ノ木小学校)に通学していただく方向で説明をしてみいました。

一方、保護者や町内会の皆様からは、来年4月からでは、あまりにも急すぎるとの意見が多く、合意が得られませんでした。8月23日に行われた保護者及び町内会の皆様に対する意見交換会で、今までの方向性から1年間後ろ倒しして、令和6年度から森小学校(希望があれば鷺ノ木小学校)に通学していただきたい旨説明しました。理解を若干得ることはできましたが、合意を得たとは言えず、再度、意見交換会を実施することとしました。

9月22日に行われた保護者及び町内会の皆様に対する意見交換会には、町長・副町長も出席し、町長の考えとして、令和5年度末で駒ヶ岳小学校を閉校とし、令和6年度から森小学校、希望があれば鷺ノ木小学校に通学していただく旨説明し、方向性を決めました。なお、駒ヶ岳小学校が危険校舎であるとの結果がでたため、保護者で令和5年度から森小学校や鷺ノ木小学校にお子さんを通学させたい方もいる可能性があることから、そのような方の不安を解消するため、現在の1年生から5年生と令和5年度に新1年生になるお子さんがいる保護者に対して、意向調査を行い、別に交通手段の確保をしたいと考えております。また、児童が新しい環境を事前に知ることが必要と考えており、今後、該当校と交流学习を計画したいと考えております。以上で説明を終わらせていただきます。

(毛利教育長)

はい、以上が駒ヶ岳小学校の方向性に対して、十分とは言えないんですけれども、教育委員会事務方の方で調整してきた経緯と内容です。あくまでも駒ヶ岳小学校の耐力度調査の結果に基づいて、何か行動しなければならぬというところが出発点となっております。でも住民の感情からするとですね、やっぱり学校がそれに伴って結果的に閉じてしまうということに対する色々な想いが表れたこの8回の説明協議会だったという風に振り返っております。皆様からもこのこの件について、忌憚ないご意見を頂戴したいと思います。

(古川委員)

はい、私は実は息子が小学生いるんですけれども、やっぱりもし私がそうなった場合を考えると、送迎が大変だったりとか行った先で何かあったらっていう不安はもちろんあります。ただ、災害がいつ来るか分からないということもあるので、守れる命がたくさんいることには間違いないので、早めに森小学校なりに行ける方がいるんだったら、それはすごく良いと思います。先ほど希望者は前もって先に行く形を取ることだったので、すごく良いと思いました。以上です。

(毛利教育長)

ありがとうございます。他の方もぜひ、ご意見をお願いします。

(長瀬委員)

はい、先日の22日の説明会では町長とかも出席されたんですね。町長からそういう方向性で行きますという話があったということだったんですけども、それについてどういった意見があったんでしょうか。

(毛利教育長)

まず、町長・副町長も出席しての協議会というのはちょっと例を探しても珍しいことではあります。ですが、これも地域の方からですね、その前の話し合いの中で是非ともまちづくりのことに関連することから、是非とも直接町長ともお話しできたら良いということを受けて、それを受けての出席とまずなりました。町長からやっぱり駒ヶ岳地区に対するもちろん町としてこのように進んでいきたいというような、つまり可能性を秘めている地域だということで、町長の方からも熱心にお話をされていまして、そのことでもっと具体的に知りたいというのが声としては多かったように思います。ただ、町長としてもまだどこにも喋っていない議会も通っていないものを言うことも難しく、中々最後の最後まで言えませんが、決して駒ヶ岳地域からどんどん人やモノを剥いでいって、過疎化をするという考え方ではなくて、再配分・再投資をしたい地域の一つであると、森町の目玉の一つであるという風に押さえていると説明はありました。多くの方は納得もしたかもしれませんが、一部、それでもやっぱりそれが具体的な姿が見えるまでやっぱり信じられないという声もありました。刻んで部分的な事でも結構です。

(三輪委員)

子供が少なくなってきたということが最大の原因ですね。どこの町でもまちづくりの中で否めないことで、でも私森町は、子供の教育ということに対しては、実際は目には見えないのかもしれないけれども、随分色々なところで子供たちのためにということで頑張っている町の一つだと思うんです。確かに小さい学校の特色というのは今までも随分色々なところで顕著に出ていますし、実際に卒業された方々が今でも語り継いでくださることが、まず第一の私はね、森町の教育にかけた実績だと思うんです。だけれども、今の現状を見て、やはりこれから将来的に例えば長期的な部分で子供が増えるということを考えて今の教育というのは進まないと思うんですよね。だから今のそのことも考えながらですけども、やっぱり子供はたくさんの中で勉強して学んで欲しいというのが、今の今までのことを踏まえた中で最近思うことです。ですから出来れば地域の方々にも子供たちのためにというところを大事にさせていただいて、協力していただきたい。一生懸命今まで培ってきたものをたくさん持っている子供たちの可能性をまた拡げてほしいというのがまず私の気持ちです。

(毛利教育長)

ありがとうございます。吉川委員いかがですか。

(吉川委員)

方向性としては1年間延びたということですね。

(毛利教育長)

延びました。

(吉川委員)

これは決定ですか。まだ決定ではないですか。

(毛利教育長)

いいえ、1年間延ばして、令和6年の3月で閉校という形を執って、令和6年4月からは全員が森小学校、希望があれば鷺ノ木小学校という形で移送手段を整えて動くというそんな形になります。

(吉川委員)

方向性としてはそういう風になったと。

(毛利教育長)

方向性はそれでほぼ決めて、かかりたいというか、今日の教育委員さんの意見でまずそれを固めたいという風な本日となっています。

(吉川委員)

あと、森小学校、鷺ノ木小学校の2校に限定している訳ですよ。

(毛利教育長)

はい。

(吉川委員)

同じく話が別になるかもしれませんが、

(毛利教育長)

ええ、お願いします。

(吉川委員)

尾白内小学校の問題も出てくるでしょうし、だいぶ以前にずっと離れた石倉とか石谷小

学校にという話も聞いたんですけども、その辺はどうなんですか。

(毛利教育長)

検討したのは石谷小学校です。

(吉川委員)

そうなると本当にスクールバスも大変なことになるでしょうけど、伝統として森小学校、鷲ノ木小学校というのはすごく良い判断だと思います。これは個々に今現在の駒ヶ岳小学校の生徒さん親御さんが決めるということですね。

(毛利教育長)

そのいずれかというのは親御さんが決定することになります。あの、実は原則は森小学校なんですよ。町の決め方として通学区域というような大まかな縛りをかける

(吉川委員)

校区という言葉はありますか。

(毛利教育長)

校区という言葉があります。駒ヶ岳に住んでいらっしゃる子供たちの校区を森小学校、鷲ノ木小学校まで広げようということになります。

(吉川委員)

方向性としてはここで進めていくしか無いと思います。他に選択肢がないですから。

(毛利教育長)

その選択肢について私共も検討したんですが、今までの協議会の中身と同様なんですけれども、今の駒ヶ岳小学校がある場所自体はですね、決して安全だとは言えない場所なんですよね。あの駒ヶ岳の噴火等に備えるという意味では。そうすると別な場所に建て替えるというような案が当然浮上しますけれども、そうするとですね、年数が非常にかかります。5年6年と平気でかかっていきます。その間に駒ヶ岳小学校の児童数がまた更に減っていくという状況になります。そうすると結構厳しい人数になってきていまして、学校で6学年併せても15名とか14名とかそういう状態になっていきます。そうすると当然ですね、今凄く丁寧な教育ということで地域の方々にも評価いただいているんですけども、今度は定員が変化してきまして、どんどんどんどん先生が剥がされていくんですよ、要は。教頭が剥がされたりですとか、養護教諭が居なくなったりだとか、そういう事態にどんどんなっていくって、人数が少なくなっても教員がどんどんそれ以上に減っていくというような状況の

中では、中々学校の維持というのは大変だろうということで、併せて三輪委員からもお話があったように、教育の目的って二つ厳然とあるんですよね。一つは児童生徒の能力を伸ばすという個に視点を当てたところですけども、もう一つはやっぱり社会の形成者っていう周りとの関係で育っていくというところがどうしても外せない訳であって、そういう意味ではこれは国の標準という考えではないんですけれども、やはり多様な考えに触れる機会とか、認め合ったり協力し合って切磋琢磨するというようなそういう場が学校教育に必要なということからは、やっぱり将来的な人数のことを考えると、大変厳しい状況にあるということを考え合わせて、発端が危険校舎となったことからそういう考えることが早まってしまったんですね。もう少し住民の皆さんとゆっくり話をする時間があれば良いんですけども、結局は急いでとにかく駒ヶ岳小学校が別な場所での学習をとにかく環境を整えなければならないという中では、非常に苦しい判断をしなければならない状況にあるということです。そんな中で今、あの校舎から出て安全な環境で学習を成り立たせるイコール、その先のことを少し考えると、駒ヶ岳小学校はここで一度閉校とするというような考え方が妥当なのではないかということでもあります。

(吉川委員)

前回の説明の中でも、その方向性の中で話は聞いていましたけれども、そこしか無いのかなと個人的に思います。ただ、時間が無いというのは確かですね。時間が短かったというのは確かですから。ただ築年数から言っても校舎全体、建物全体を見ても明らかに相当時代を経ているなというのは感じますから、今今の話ではなく相当以前からそういう話はあったと思います。だから今やるのが得策かなと。一番最初古川さんおっしゃったように自然災害ですから、本当に1年先延ばしが言葉ちょっと乱暴ですけども明日にも災害が起こるかもしれないですから、本当は早めた方が一番良いんでしょうけれども、前回のお話を聞いた時にそうしたらスクールバスは100%安全なのかというお話も保護者の方から出ていましたよね。そういう説明も聞きましたけれども、確かにそれはそうなんですけれども、それを自然災害と交通事故は自然ではないですから。だからスクールバスの方向性についても安全管理というのはきっちりとやる中で進んでいくんだという方針の下でやりますから、その辺は自然災害と違うものですからね。危険校舎という判定が出た以上、やっぱり早めた方が良いというのが私の考えです。

(毛利教育長)

ありがとうございます。私共も色々な気持ちが今回この半年で湧きあがり、地域の方、保護者の方も今日の報告の最初に経過についてという並んだものがあるんですけども、これを見て分かるように、最初出席者が少なかったんですね。それでだんだんこれは大変なことだというような認識が広がっていったというようなことが読み取れる訳ですよね。そういう中で当然厳しい声もいただきましたけれども、やっぱりここは教育行政としては子

供の安全確保、それから今回はもう一点は地域住民それから保護者の理解というか、そこを少しでも促進しながらこの話を進めていかなければならないなということで、何が適切なラインか分かりませんが1年延ばしたという裏には単に危険だけの観点だけではなくて、保護者の理解というようなそこでのラインをこちらで示したというような経緯がありました。吉川委員がおっしゃられたようにいつ来るか分かりません。来ないかもしれませんが。こればかりは分からないんですけれども、最大限の安全の配慮、例えば避難訓練の仕方ちょっと変えて駒ヶ岳小学校の今の建物に合った避難訓練の仕方を考えて実施するか、先ほど出た車で移送になった時に、安全管理が徹底されるにはどのようにしたら良いかだとか、教育委員会の方でも抱える課題は多々これからもあろうと思うし、解決していかなければならないと思っています。

(三輪委員)

議事録を読んでいたらさっき校舎の中でもその中でも安全なところを残してどうのこうのというのをごさいましたよね。とって皆さんが色々な学校に対する想いを色々な形で発言していたのを、本当に学校って地域の中心であるということを改めて感じたんですけれども、教育委員会としてもそこを大事にやっぱり地域住民の方々の理解を少しでも多くいただいて、そして子供たちをより良い学習へと誘うための努力というのを感じて、私は中々地域から無くすということは大変な事なのだと、その地域の歴史というのをごさいますし、だけども私はそこでやっぱり地域の方々に子供たちのためにということで将来を担う子供たちのためにまた違う大海に出てその中で切磋琢磨して先ほど教育長もおっしゃいましたけれども、機会を与えてほしいなと。子供たちが石倉の子供たちもそうでしたよね。自分たちの学校で出来るだけ思い出作りをしようと限られた時間の中で必死に思い出作りをして、そして自分たちが石倉小学校の学んだ子供として森小学校に行くんだとそういう気持ちを閉校式の際に強く感じて、子供たちって凄い力を持っているんだなと。やっぱり子供たちのために私たち大人が少しでも力になって子供たちのためにというところをもう一度改めて結び合わせていかないと、森町の将来のためにも子供たちの将来だけでなく、森町の将来のために子供は宝だということで、少しお父さんお母さんだけでなく、地域の方々にも協力して旅立たせてほしいと。時間が少ない中でも地域として子供たちと一緒に作れる思い出作りというのがたくさんあってほしいとつくづく改めて思っていました。

(毛利教育長)

ありがとうございます。他、ご意見いかがでしょうか。そうすると、今皆さんから頂戴した意見では、こちらで示した方向性、報告という形で出しましたけれども、教育委員4人の皆様の同意を得てこの方向で進むということでよろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(毛利教育長)

ありがとうございます。それでは以上で報告第2号について終わります。その他皆さんの方から何か話し合うべき内容がございましたらお願いします。

(教育委員一同「ありません」の声)

(毛利教育長)

それでは以上で第10回森町教育委員会を終了します。ありがとうございました。